

第21回関東クラブユースU-15サッカー選手権大会

Jr YU-15関東大会1回戦で散る！



6月20日に関東大会1回戦VS柏レイソル戦が千葉県の日立台日立柏総合グラウンドで行われました。ゲーム内容はレイソルのポゼッションに守備に回る時間が長いも最後のところで踏ん張り得点を許さなかったものの前半終了間際の38分に不意なファールから一瞬の隙を付かれて失点。後半はDFの寄せが遅れたり、連携ミスが起こり3失点。

0対4で敗退しました。レイソルの隙を付く判断力、パス、シュートの精度など学ぶことが多かったです。またまったく通用しなかった訳ではなく得点を取るチャンスもあり通用するプレーもあり自信につながったと思います。高円宮にむけこの夏の過ごし方、取り組み方がとても重要になってきます。悔いの残らない高円宮を迎える為にも計画を立て充実した日々を送りましょう。たくさんの応援ありがとうございました。【U-15担当 雲居和城】

選手からのコメント

【植松拓巳】自分は攻撃の選手としてチャンスを作れなかった。しかし攻撃で通用したこともあった。プレッシャーの速さや、玉際の強さなどで攻撃が通用しない場面が多かった。関東との差を実感した試合だった。また通用しなかった部分を日々の練習から意識高く取り組んでいき、高円宮杯ではもう一度関東大会でチャレンジしたい。

【榎原拓哉】最初はボールに触れることもなかったがだんだんリズムをつかみボールに触れプレーできるようになった。でも一瞬の隙を付かれた...この一瞬の隙が、大きな差になるということを知らされた。ピッチに立つ以上気を抜くことの無いよう集中して望んでいきたい。この悔しさを次の大会でリベンジしたい。



第37回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会山梨県予選

今回初出場する大会男子の天皇杯と同様、女子の日本一のチームを決める皇后杯、fもVogelU-15が出場、大会での上位進出を選手もスタッフも期待したが、惜しくも2回戦、帝京第三高校女子サッカー部に敗れた。しかし、相手はほぼ毎日トレーニングを積んでいる高校生に、前半は2-1でリードして折り返すところなど、確実に日ごろの練習の成果が表れていた。後半は足が止まらない高校生、足が止まった中学生との差が出て、ロングシュートのキック力の差もあり、失点を重ねた。関東女子U-15サッカー大会の予選に引き続き涙をのんだが、中学1・2年生が主力のチーム、来年に向け良い経験になっていくことでしょう！！

第39回関東少年サッカー大会山梨県予選

予選リーグ同グループに入った小学6年生チームのSCとU-12、SCIは1勝3敗で第4位、U-12はグループ1位となり決勝トーナメントに進出。

7月4日決勝トーナメントが開催。U-12は1回戦を、CIELOと闘った。開始ファールからPKを取られ失点、後手に回りあわててしまったが、リズムを後半つかむと多くのチャンスを作って相手ゴールに向かった。しかしネットを揺らしたのはわずかに1点、延長でも決着つかず、PK合戦で惜しくも敗れた。次のVF甲府に勝って県で優勝をとみんなて努力を重ねたが、安易が起こるか分からないトーナメント...良い経験になりました。

がんばろう  ニッポン!
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

<http://www.fortuna98.co.jp>

選手コメント 皇后杯を戦って

事務局より

今回の試合は勝ったら念願のジェイドとの戦える大切な試合で、前半はりおんが2点先制点を取ってくれてすごく安心した。このまま勝てると思った。でも後半になると帝京の攻撃が厳しくなってディフェンスは裏を取られたりリカバーがづれたり声が出せなくなったりとチームがバラバラになってしまった。結局2-7で負けました。この試合での反省点は一人一人声が出ていないことで声を出さないと試合にならないから、これからの練習は声を出す事から徹底的にやっていきたいです。そして来年はこそ関東大会に行きたいです。【Vogel中2 宮下貴帆】

《W-カップ女子大会を観て》全部1点差で勝ち、ということはずごくねばり強くがんばった証拠だと思えます。フォーゲルにはないプレーがナデシコにたくさんありました。まず、声です。声がどの選手も出ていました。次にパスの正確。少しずつれているところもあったけどコミュニケーションをとれて、パスも縦パスとか相手が嫌がることをしていました。運動力もすごかったです。

【Vogel中3 矢野莉恩】



①用品には名前をしっかりと記入しましょう

新しい用品を手にし、フォルトウナの一員として気持ちも新たに、自身の目標に向かって努力をしていってほしいと思います。その用品もチームメイトも同じものを持っているので、必ず氏名を記載してください。名前が書いてあると、非常事態でも手元に戻ってきます。

②用品代等の金銭の受領について

用品代、会費等の金銭の受領は、クラブ事務局スタッフ赤澤、またコーチスタッフの雲居、皆川に直接渡してください。

③5週目休みの件

5週目の休みについて確認です。7月は29日(水)、30日(木)、31日(金)は通常練習は休みになります。お間違いのないようお願いいたします。

第2回

☆テクニク指導☆

【ドリブル】ドリブルには、相手を抜くフェイントを含めたドリブルとスペースがある中でボールを運んでいくドリブルとがある。どちらも相手を観ながら相手との距離を感じながら仕掛けていくものである。だからボールばかり見て視線を下げていくのではなく常に全体が観えるように背筋を伸ばして姿勢よくボールを運ぶことが重要です。

ドリブルの良い姿勢



良い姿勢とボールの位置

【ドリブルで気を付けること】

顔を上げて観る(相手との間合い)
ボールの置き所は、何でもできるところに置いておく
両足で扱えることが重要
フェイントは大きくし、逆を取るために相手を動かすことが重要
スピードの変化も重要だよ!



悪い例

U-11峡中地区リーグ戦のふりかえり

小学5年生最初のリーグ戦ということで2チームに分かれて臨みました。普段のトレーニングマッチとは違った緊張感があったのかゲームではあわててしまうプレーが見受けられた。緊張感にはゲームの中でも大切なこと。それだけ集中している証拠だと思います。しかしあわててしまうということはテクニクも未熟ということを感じました。どんな試合・相手・状況でも自分のテクニクを発揮できるようにしてほしいです。今回のリーグ戦を生かして今後に臨みたい。保護者の皆様、送迎に応援に斗ありがとうございました。【U-11担当 阿佐美宗平】

TOPチーム前半リーグを振り返り

チームはフォルトウナのOBが多く集まっていますが、これまでは個々の選手のセンスだけで闘っていました。しかし今季スーパーリーグを戦い結果が残せない現状、精神力やチーム力が必要不可欠になっていくことを選手が気づき始めました。後期リーグ第1戦山梨学院大学との試合を勝利し、チームとしてみんなで進むべき方向を合わせ楽しみながら頑張っていきます。

中野選手兼任コーチ

クラブパートナー

実力の差は努力の差、
実績の差は責任感の差
人格の差は苦勞の差、
判断力の差は覚悟の差
真剣だと知恵が出る
中途半端だと愚痴が出る
いい加減だと言いつばかり